

紫波総合PTA会報

岩手県立紫波総合高等学校PTA

IWATE Prefectural SHIWA Comprehensive Senior High School

令和4年度

01号

CONTENTS

- PTA会長・学校長・母親委員長挨拶 ■令和4年度PTA役員および学級理事 ■活動を終えて
- 令和4年度PTA活動紹介 ■事務局日より



よりよい 教育環境を目指して

PTA会長 山崎弘之

新秋の涼風が肌に心地よく感じられる今日このごろ、会員の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げますとともに、日頃よりPTA活動への参加、ご協力を頂き、心より深く感謝申し上げます。

さて、いつの時代も、親の役目は子どもたちのため、その未来のために存在するものと私は思っております。進路決定・自己実現の支援等を親として行う上で、我々大人が前を向いて、周囲と関わり、子供を見守る姿を見せるのは、何より子供たちの成長の助けにつながると考えております。

これこそ「親の背中を観て育つ」という姿ではないでしょうか。子ども達が大きく成長するにつれ、親としては寂しい事ですが家庭での会話や一緒に出かけたりする機会も多々減ってくるのかと思います。

高校生は大人でもあり、子供でもある微妙な年代で、難しい部分もあり、子供の方が、親とのかかわりを拒絶するという部分も多くなってきましたが、子供との会話をすること、は、とても大切な時間です。学校での出来事や、友達の事、世間話など、まず、なんでも聞いてあげられること、話し合いができてこそ、良い絆ができると思います。

さらに言えば、学校と保護者のコミュニケーションも大切です。どちらか一方だけの情報及び行動では生徒達の成長を助ける事ができるとは到底思えません。

学校と保護者が一緒になって生徒達を育て、社会へ送り出す形になるのが理想的な教育環境だと私は考えております。

高校生にもなると、保護者が学校へ出向く機会も減ってくることで

しょう。保護者からすれば、どのような学校環境なのか、学校側からすればどのような家庭環境なのかと、お互いに思うこともあると思います。気になる事は、些細な事でもお互い遠慮なく聞けばいいと思います。会話をすること、学校側と保護者側との繋がりが、しっかりしたものになっていくのではないのでしょうか。お互い関わりを持ち合い、生徒たちが安心して高校生活ができる環境を作り上げていかなければと思います。

その為にもPTA会員の皆様には、一人でも多くの方々の参加が必要だと思っております。

これまでの新型コロナによる行動制限も徐々に解除されていく中、部活動のイベントや学校の行事も増えてくる事でしょう。一人でも多くの方々の協力が不可欠になってきます。ぜひ子育ての集大成ともなる高校生活、家庭に留まらず、PTA活動の中で子育てを楽しまれる事をお願い申し上げます。

最後に先日PTA理事会にご参加頂きました事、厚く御礼申し上げます。

また、参加できなかった方も次回是非ともご参加頂けるようお願いし、御礼を申し上げます。



「紫波総合高校への4つの思い」

校長 谷藤 節雄

PTA会員の皆様には、日頃より本校教育活動へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

1年が経過して、昨年は本校の良さをたくさん知ることができましたが、悔しいことに、地域住民・中学生その保護者の方々への本校の魅力発信という意味では、もう少しだったとも感じています。

私が目指したい紫波総合高校への思いは4つです。

- ①生徒の皆さんが、「紫波総合に入学してよかった。」と思うこと。
 - ②保護者の皆さんに「紫波総合に入れてよかった。」と思っていたりいただくこと。
 - ③教職員が「紫波総合で働けてよかった。」と思うこと。
 - ④地域の方々に、「紫波総合があつてよかった。」と思つてもらつたことです。
- 校内でのアンケートでは、
- ①「進路達成に向けて授業が効果的に行われている」と答えた生徒が89%
 - ②「子どもが紫波総合で高校生活を送っていることに満足している」と答

頑張っていること」を正しく伝えていきたいと考えています。

年度始めには、上記4つの思いを生徒の皆さんに全校集会でお話しし、多くの生徒から賛同の反応を得ました、感謝しています。

次のステップとしてどうすればいいのか？

やっぱり、他力に頼ってはいけません。誰かが紫波総合高校をそんないい学校にしてくれて、そこで自分たちが生活していくという受け身では実現できないということ。自分達が選んだ学校、私を含め自分達が勤める学校ですから、自分達で作っていかなくてはなりません。

本校は、紫波町・オガールをモデルとして町とのつながりを築き、全校生徒と共に失敗を恐れず、どんどん挑戦していきます。町外から来ている生徒にとつても素晴らしいモデルケースとなり、将来、ふるさと岩手の発展を担う人材が育つと考えます。

「成功」の反対は何か？…「失敗」ではないです。「何もしないこと」、「立ち止まること」です。なぜなら、失敗からは次に向けた挑戦が生まれるし、成功に向けた少しでも前進することになるからです。

今年度も後半戦に入ります。胸を張って、元気に学校生活を楽しんでいきたいと思ひます。保護者の皆さんも学校にお出かけていただき、生徒諸君の活躍を見守つてもらいたいと思ひます。それぞれが、紫波総合高校生として、自らの自己実現にむけて、頑張つてくれることを期待しています。

「ご挨拶」

伊藤 早苗

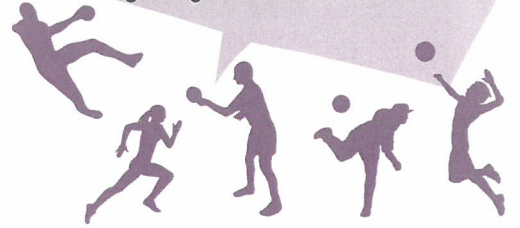
今年度母親委員長を務めさせていただくことになりました伊藤です。母親委員長は、昨年に引き続き二年目となります。昨年度は、新型コロナウイルスの影響で母親委員会の活動は行うことができませんでした。最近、コロナ禍も日常生活の一部となつてきており、ソーシャルディスタンスを保ちながら感染対策を行うことで、三年ぶりの行事が各地で行われるようになり、チャグチャグ馬コやさんさ踊り、花火大会等が行われて、皆さんも見物に訪れたのではないのでしょうか。三年ぶりということもありワクワク感もありながら、一方では、やはり感染に気

をつけて思いきり楽しめない気持ちもあつたことと思います。私も感染に気をつけながら人の密になつていない所を探し、花火大会を楽しみました。学校行事も今後どうなるのでしょうか？

先日、東北地区高等と合同チームを学校PTA連合盛岡大会のお手伝いをさせていただきました。各学校のPTAの方々の参加の多さに驚きました。大会前日から準備を行ったのですが、皆さん汗だけで動いておりました。私達紫波高の担当は救護係でした。PTAの方三名と、総務主任の佐藤さんと雫石高校の先生とPTAの方一名で協力してお手伝いをしてきました。当日は、朝早くから集合し、大会参加者の入場時の体温測定。何十人？何百人？測定したのだろうか？その後は、救護室に看護師の方と一緒に交代で待機。体調を崩す方もなく、無事大会終了したことに安堵しました。ステージでは岩手県内の高校生達の発表があり、楽しみながらお手伝いできました。

今年度母親委員会としてPTAの皆様にご協力をお願いすることがあります。その時は、是非ご協力していただければ助かります。参加する事で沢山の学びもありますし、お母様方の交流も深まりますよ!!こんな委員長ですが、今年一年よろしくお願い致します。

活動を 終えて



高校野球連合チーム一勝へ

硬式野球部長 三年D組 佐々木 慎吾

今年の硬式野球部は、去年同様、大野高校と連合チームを組み夏の県大会一勝を目標に日々の練習や練習試合に臨んできました。

紫波高校としては、去年三年生引退後は、僕一人で活動していく予定でした。しかし、去年八月に去石猛、十月にマネージャーも入り、三人で基礎練習を中心に努力し続けてきました。また、今年に入り、二年生一人、一年生三人と計七人で、少ない人数ながらも楽しく活動出来たのかなと思います。

僕は部長兼キャプテンとして、個性の強い一、二年生をまとめていけるか不安でした。しかし、案外そんなことはなく、アドバイスをすぐに聞いて行動しようと真面目に取り組んでいる姿や、自分から率先して行動してくれているのを見て、安心しました。

連合先の大野高校は、勝利のための意識や個々の能力が高く、チームワークが良いのが特長のチームなのかなという印象もっています。正直な所、僕自身あまり上手な部類でもなかった

し、やったことのないセンターをまかせられて不安でした。

その不安をなくすためにも、日々の練習でその日の反省をみんなでも出し、確認し、次に活かし日々努力してきました。

練習試合では、一年生がけがをしていたり、三年もけがをしたり、体調を崩したりなどあり、活動が制限された時もあったので、そこは、自主練習などでカバーしてきました。

そして夏の県大会初戦久慈工戦で、最初三点リードされていて、負ける流れというのもありましたが、僕たちが声をかけ合いチームの雰囲気をよくしていけるようになりました。

そしてこの試合は猛のヒットから点数が入り、僕のスクイズ成功もあり、さらに点差が開き、最後には四番木村のツーランホームランで、十一対三でコールドゲームとなり、目標である夏の大会一勝を達成する事が出来ました。次の盛岡一高戦では、個々が全力を出しましたが、十三点をとられ五回

コールドで負けてしまいました。僕自身プレッシャーや緊張に負けてしまったところもあり、チームのためにもできなかったという悔いが残る試合となりましたが、連合チームで一勝することが出来たのはとてもうれしかったです。

連合チームを組んでくれた大野高校、いつも練習を見てアドバイスをや注意してくれた露木先生、そして、様々な場面で力を貸してくれた親にも感謝しかありません。

夏の県大会から得たものは、とても



大きいものとなったと思いました。

後輩達には、入ってくれて感謝しかないし、今後の活動も頑張っしてほしいなと思いました（ケガなく）。最後に、途中から入ってくれた同級生二人と、三年間教えてくれた露木先生と共に、県大会一勝が出来て良かったです。

高総体を振り返って

卓球部長 三年B組 藤原 柊耶

卓球部は本来ならば四月の花巻地区予選で引退でしたが、花巻南高校と合同チームを組むことができることになりました。五月の県大会（高総体）に出場することができ、部員全員が一カ月だけですが長く卓球を続けられたことに感謝をしています。

高総体に向け日々練習に取り組んでいた中、花巻南高校との合同練習では、いつもの練習とは違う練習だったため、今まで身に付けることのできなかった力が身に付き、以前よりも対戦相手への対応が良くなっていききました。部長である私は高校生になって初めての競技だったため、チームの中で



の対応の仕方が出来なかつたので花巻南高校さんの方々と練習試合をしたことにより前よりも強くなりました。チームの足を引っ張ることがないように、試合本番当日まで練習をしました。

結果優勝を目標むことはできませんでしたが、チームみんなが一点でも多く取ろうとする行動によって「悔いが無い試合だった」と言っていました。私たち紫波総合高校は、今回で最後の大会でしたが、花巻南高校さんはあと二年あるため、頑張っって活動を続けて欲しいと思いました。

女子バレーボール部長 三年D組

齊藤 結衣

私たちは、高総体に向けて日々の練習を頑張ってきました。惜しくも一回戦目で負けてしまいました。一人ひとりが練習の成果を発揮することができたと思います。

私たちの武器は、強いサーブです。みんなそれぞれ武器であるサーブで相手を崩すことができました。でも、相手のサーブやスパイクに押されてしまい、思った通りのバレーができ



ませんでした。相手のペースにのまれてしまい、とても悔しい結果になってしまいました。普通なら三年生は、高総体で引退ですが、全員、悔しいという気持ちが強かったので、九月にある選手権まで残ることにしました。今の部活動では、九月の選手権大会に向けて練習を頑張っています。選手六人と少ない人数ではありますが、みんな協力して練習しています。高総体ではとても悔しい思いをしたので、最後の大会では後悔の残らない試合をして、一・二年生に引き継いでいきたいと思いました。もう悔しい思いはしたくないので、全力で頑張ります。

ハンドボール部長 三年C組

米倉 瑠平

今回この高総体を振り返ってみて、たくさん知識と経験を得ることが出来ました。特に最後の試合は全てを出し切ることが出来たと思うので、残念な結果でしたが悔いは残っていません。

一年時から人数が少なく、合同チームを組んだり、他の学校と練習をしていましたが、それらの経験を通して今



があると思うので、とても意味のあるものだと思います。

二年時から新チームになって、また他校と合同を組んだり、社会人と練習出来る機会を設けてもらい、技術面や精神面でも大きく成長出来たので良い経験だったと思います。

これらを通して、今までの私たちに関わってきた人々、先輩、後輩、先生方、全ての人に感謝したいと思うし、今の私たちがここまでこれたのも、この経験を通してだと思います。

これからも頑張っていきたいと思えます。

ソフトボール部長 三年B組

小森田 朱音

私たちソフトボール部は、惜しくも二回戦敗退という結果で高総体を終えました。個人的な感想として、結果に拘わらず楽しく試合を終える事が出来たので良かったと思います。連合チームを組んで下さった盛岡北高校のソフトボール部は、既に人数が足りていて



単独チームとして大会に出場できる状態にも関わらず、ひとつのチームとして私たちが組んで下さった事にとても感謝しています。盛岡北高校とは学校同士の距離があり、新型コロナウイルスへの心配もあったので合同練習や練習試合の回数は多くありませんでした。ですが、大会までの限られた時間の中で技術を向上させ、コミュニケーションを取りお互いに成長する事が出来たと思います。新体制への不安もありましたが、仲間や先生方など多くの人の支えがあり、とても良い経験と大会になりました。ありがとうございます。

陸上競技部長 三年C組

田子 雅心

陸上競技部は、高総体で結果を残す事が出来ませんでした。が、日々の部活動を通して個人個人を追い込み、自己記録の更新を達成する事が出来ました。また大会に出場できなかった部員は、部活動での練習を通して体力だけでなく精神力や忍耐力を身に付け、次の

新人戦ではよい結果を残せるように挑んでもらいたいと思います。

三年生は最後の大会ではありませんが、よい結果を個人個人で残す事が出来ず終わってしまいました。個人の意見ではありますが、三年生一人ひとりが自己記録の更新を達成でき悔いの残らないような大会に終われて良かったと感じています。一、二年生は次の大会に向けて日々の部活動に積極的に取り組み、悔いの残らないように自己記録の更新を目指してほしいと思っています。リレーなどの競技や自分が専門に行っている種目以外にもチャレンジし、結果や自己記録を残してほしいと思っています。



弓道部 三年A組

藤原 那月

弓道部は、女子5人、男子2人の少ない部員の中活動してきました。三年生最後となる高総体では1チーム5人の中、3人のみでの出場が決まりました。男子は団体戦には人数が足りず個人戦のみとなりました。

日々の部活では、コロナ禍の影響で



マスクを着用しての練習など様々な工夫をしながら頑張りました。しかし、高総体予選まで残り一週間のところで、三年生はコロナによる部活動停止になってしまいました。悲しくも予選出場ができず、個人戦出場を逃してしまいました。三年生は「もう高総体は出場できないのだ。」と絶望しました。けれど、高総体は各校団体1チームずつ出場でき、無事高総体に出場することができました。

高総体本番。練習はしてきたものの、とても緊張しました。結果は残せなかったけれど、一番綺麗な射をすることができました。コーチに教わった事を生かし射を打つことができたこと、高総体に出場できたこと、何よりチームの仲間と頑張れた思い出ができ、忘れられない高総体となりました。

自転車競技部 二年A組

藤澤 勇聡

私は入学時からインターハイ出場を意識し、日々を過ごしてきました。一年次では先輩方のサポート役でしたが、自分たちの代になって先輩たちに負けないよう一生懸命練習してきました。

た。インターハイ出場が決まり、練習にも熱が入っていたところ、大会の2週間前に骨折をしてしまいました。大会直前なのに練習も調整もできず不安しかありませんでした。それと同時に、自分が普段練習できていることがどれだけ大切なことか身に染みて感じました。そんな状態でインターハイに臨みましたが、レース前には今自分ができることをやるしかない、体力や技術面で劣っていても、レース展開や戦術に意識を向けて走ろうと思えました。ゴール後は、体中の痛みと心拍が上がらずぎて吐いてしまいました。結果は0・数秒の差で準決勝に進むことができませんでした。そこで競つ

た選手が決勝で5位に入賞したので、心から悔しいと思いましたが、その時の自分ができることはできました。そして、これまでの練習内容を振り返って、勝つために何をしておくべきか知



ることができました。10月には栃木県体の出場が決まっています。県の代表として参加するので、恥ずかしくない走りをし、団体戦では先輩に迷惑をかけるないように全力で頑張ってきます。



ライフ系列介助犬学習

かしの里

アーク溶接

田植え風景

三年生卒業研究しわり

音楽部定期演奏会円陣

スポーツ大会黒板アート

生徒会リーダー研修会

東北地区高等学校 PTA連合会参加報告

齋 藤 美穂子

七月一日に開催された「第七十二回東北地区高等学校PTA連合会」に参加させていただきました。大会のテーマ「『えん』く応えよう 援けよう 団まろう！子どもたちの未来のために」がステージの上にも大きく掲げられ、そのステージで県内の高校から代表でステージ発表してくれた高校生たちがとても印象的でした。また、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響を受け、学校行事をはじめ各大会への参加など、これまで当たり前に行われていたことが当たり前でなくなってしまうこと、これまでにない制約をうけながら行われなければならない現状を新しい生活様式と受け止めて持続可能な活動とは何か、どう対応していくべきかについて各県のPTA代表の方々の意見交換をうかがえて、とても考えさせられた大会でした。三年間の高校生活をより充実したものにしていくためには「これまで」にはこだわらず、変化に対応しながら私たち親が子どもたちの一番の「応援団」として見守っていくことの大切さをあらためて確認でき、これからより一層力強く応援していきたいと思えます。

事務局だより

令和4年度も半分が経過し、2022年も残すところあと3か月となりました。全国的なコロナの感染状況もわずかながら減少傾向にはあるものの、もはや誰が罹ってもおかしくない状況となっています。そのような中これまで通り感染対策を徹底しつつ各種のイベントも再開されてきており、ウィズコロナという意識が定着しつつあるように感じます。さて、今年度のPTA会報は発行がだいぶ遅れてしまいましたが、会員の皆様にも少しでも学校の状況をお伝えするために生徒の声を多く掲載させていただきました。コロナ禍で様々な制約がある中でも本校生徒は一生懸命頑張っておりまして。10月中には紫鷲祭も開催されますので保護者の皆様も学校に足を運ばれて学校の様子を目にいただければと思います。今年度後半もどうぞよろしくお願いたします。



本校の様子をnote.comでも発信しております。是非ご覧ください。

<https://shw-hs.note.jp/>